

令和 4 年度 施策評価表

第 5 章 『魅力・元気・文化を誇れるまち』

まちづくりの目標	農業、商業、工業、観光業などの各産業の活性化を図るとともに、これらが自然環境や文化、芸術などと複合的につながり、魅力あふれるまちづくりをめざします。
分野別計画・指針	所沢市文化芸術振興ビジョン、所沢市産業振興ビジョン、所沢市中心市街地活性化基本計画、所沢市農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想、所沢市都市農業振興基本計画

第1節	産業基盤
関係所属	産業振興課

施策に対する市民満足度・要望度 ('令和3年度所沢市市民意識調査'の結果) 回答数:2,437人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「産業基盤」 所沢市は企業の立地や新ビジネスの創出が盛んに行われている	419	17.2%	144	5.9%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	総生産額	億円	-	8,438	8,624 (H30)		8,681

事業目標の達成状況							
基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-1-1	新たな産業用地等の創出	企業立地支援奨励金交付件数	件	3	6		6
5-1-2	企業誘致の推進	都市型産業等育成補助金交付件数	件	-	10	×	10
5-1-3	起業・創業の促進	創業支援事業の支援対象者数	人	166	313	×	313
5-1-4	新たなビジネスやイノベーションの創出	農商工連携による新たな商品やサービス等の創出件数	件	1	3		3

<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り コロナ禍において、事業全般を工夫しながらの実施となった。 企業誘致活動については、企業訪問等を自粛したものの、埼玉県主催の企業立地セミナー(大阪)では、市長も出席したトップセールスを実施した。また、関東圏の製造業者に向けて三ヶ島工業団地周辺地区のPR用のDMを発送し、誘致活動を行った。 農商工連携により開発された既存商品の更なる改良を目指して、「売れる商品づくり」をテーマとして、事業者が消費者から商品についての意見を直接得ることができるテストマーケティング形式の「農商工連携ブラッシュアップ販売会」を初めて開催した。各事業者へフィードバックし今後のブラッシュアップにつなげてもらうように努めた。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析 都市型産業等育成補助金については、補助対象事業者に向けたPR用のDMを発送するなどの周知活動を行ってきたが、企業訪問等の自粛等により制度の周知活動が十分にできなかったため、目標を達成できなかった。 創業支援事業では、開業カフェの中止や開業セミナーの人数制限などを行ったため、目標を達成できなかった。</p>
--

<p>今後の方向性</p> <p>「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容 新たな産業用地である三ヶ島工業団地周辺地区の都市計画事業がより具体化してくるから、街づくり計画部と連携しながら事務を進めていく。市内への企業立地を促進するため引き続き埼玉県をはじめとした関係機関と連携し周知活動に努めていく。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容 企業誘致の推進にあたっては、立地希望調査を活用し、企業訪問などにより積極的に誘致活動を展開していく。 創業支援事業は、多様な支援メニューにより創業者を多角的に支援するものであるが、開催方法等の検討により、事業の充実を図っていく。</p>

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
	3 すべての人に健康と福祉を	レ	12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に
レ	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R4.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭

第2節	産業競争力・成長力	
関係所属	産業振興課、農業振興課	

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「産業競争力・成長力」 所沢市は商業・工業・農業などの地元産業が活発である	518	21.3%	161	6.6%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	製造品出荷額等	億円	1,628	1,830	1,707(R1)	×	1,980

事業目標の達成状況		基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-2-1	地域を牽引する事業者等への支援	地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業により開発された新製品件数	件	3	5	3	×	5	
5-2-2	商工業者等の経営基盤の強化	(仮称)地域の中核となる事業者等応援事業による派遣件数	件	-	10	6	×	15	
5-2-3	農業の生産基盤・経営基盤の強化	認定農業者数(総数)	人	161	170	179		170	

節の基本方針への取り組み状況

前年度の取り組み状況に対する振り返り
地域資源活用・ものづくり総合支援補助金は、地域産品と地元業者が複数関わった新製品開発などの事業が交付対象となり、地域経済の活性化や農商工連携の推進に努めた。
地域の中心経営体の確保、農地集積による地域農業の体質強化、持続可能な農業構造の実現を目的として、11地区のうち新規就農者が耕作する5地区の「人・農地プラン」を改定した。
農業振興地域整備計画の適切な運用により、農業生産の基盤となる優良農地の確保に努めた。
農業を牽引していく認定農業者に対して、「認定農業者等経営改善推進事業」などにより農業経営改善の支援を行った。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
地域資源活用・ものづくり総合支援補助金については、広報・HPなどで周知したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新たな商品開発の件数が少なく、目標を達成できなかった。
(仮称)地域の中核となる事業者等応援事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対象事業者への訪問が実施できなかったため、目標を達成できなかった。

今後の方向性

「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
農業を牽引していく認定農業者に対して、農業経営改善に向けた支援を行う。
地域の農業情勢を把握し、適切に「人・農地プラン」の改定を進め、農地の集積集約化に努める。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
地域資源活用・ものづくり総合支援補助金は、小規模事業者の生産性向上や地域産業の活性化を図る上で効果的な事業であるため、より一層の周知や事業の充実に向け取り組んでいく。
(仮称)地域の中核となる事業者等応援事業は、地域の核となる事業者に対する支援機会を提供するものであり、訪問方法などを検討し、事業の充実を図っていく。

SDGsへの貢献	
1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R4.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭
-----	---------	--------	---------------

第3節	観光・にぎわい							
関係所属	商業観光課、農業振興課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人		満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度			
「観光・にぎわい」 所沢市らしい誇れる観光スポットや賑わいのエリアがある		864	35.5%	359	14.7%			
評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値	
	観光入込客数	万人	552	690	250(R2)	×	780	
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-3-1	にぎわい拠点の創出・活性化	新たな拠点施設への来場者数	万人	-	100	20	×	140
5-3-2	にぎわい拠点のネットワーク形成	他自治体と連携イベント等へ参加した回数	回	20	23	10	×	26
5-3-3	観光を軸としたブランド化の推進	体験農場利用者ステップアップ事業への参加者数	人	238	300	23	×	300
5-3-4	観光客誘致の強化	Facebook等のSNSの「いいね」数	人	5,869	9,500	12,838		12,200
節の基本方針への取り組み状況								
<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り 「COOL JAPAN FOREST構想」の一環である「所沢市観光情報・物産館(YOT-TOKO)」が令和3年5月29日に開業した。西武線沿線サミットのロゴマークの公募やパンフレットの作成など新たな取り組みを行った。台北国際旅行博の出展や台湾・香港向けのWEB記事配信を行い、アフターコロナのインバウンド需要回復に向けてPRをした。体験農場を貸出すことで、土に触れ合いながら収穫の喜びを感じてもらうことにより、農業への理解を深め「農のあるまちづくり」を推進した。また、令和4年度より閉場となる農場の代替えとして、北中地区に新たな農場の整備を行うことにより既存農場数の維持に努めるとともに、体験農場利用者の入替業務を行った。 「所沢市観光情報・物産館(YOT-TOKO)」のオープンにあたり、所沢市茶業協会の協力のもと出品参加を募り、所沢産狭山茶のPRに努めた。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析 新たな拠点施設への来場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛要請や海外観光客の入国制限等により、想定を下回ったため、目標を達成できなかった。 他自治体と連携イベント等へ参加した回数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、狭山丘陵やダイア5市観光部会でのイベントが中止となったため、目標を達成できなかった。 体験農場利用者ステップアップ事業への参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大及び荒天の影響により、体験農場利用者向け講習会の規模を縮小して開催するとともに、一部開催を中止としたため、目標を達成できなかった。</p>								
今後の方向性								
<p>「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容 アフターコロナ期における「新たな生活様式」に対応し、安全を確保した新たな観光振興事業を検討する必要がある。広域連携を推進し、広く所沢市の観光資源をアピールするため、近隣自治体との連携を深めていく。 インバウンド需要回復に向けて、受入れ整備としてガイド養成や多言語案内の強化をしていく必要がある。 「ところざわサクラタウン」や「所沢市観光情報・物産館(YOT-TOKO)」等の観光拠点における物販を通じて、ブランド化の推進を図るとともに、生産者と消費者の相互理解を図り、「農のあるまちづくり」を目指す。 お茶の香りを発する「茶香炉」を市の公共施設等に設置するとともに、イベント時等の活用を通じて、その香ばしい香りで、本市が狭山茶の産地であることを活用した事業の実施などによりPRを実施していく。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容 ところざわサクラタウンや西武園ゆうえんちへ訪れる観光客が市内を回遊するような取組を実施する。 新型コロナウイルス感染症に伴う県及び市の感染防止対策等を憂慮しながら、利用者ニーズを把握し、体験農場利用者ステップアップ事業(講習会等)による体験農場利用者向けのスキルアップ事業を展開していく。</p>								

SDGsへの貢献			
	1 貧困をなくそう	レ	10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを
レ	3 すべての人に健康と福祉を	レ	12 つくる責任 つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に	レ	15 陸の豊かさを守ろう
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に
レ	8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
レ	9 産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R4.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭

第4節	産業人材・雇用
関係所属	産業振興課

施策に対する市民満足度・要望度 ('令和3年度所沢市市民意識調査'の結果) 回答数:2,437人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「産業人材・雇用」 所沢市の農業の担い手育成や就労支援は充実している	197	8.1%	170	7.0%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	市内事業所従業者数	人	114,497	115,300	114,497(H29)	×	115,900

基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-4-1	将来の産業を担う人材の確保と育成	市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)	者	-	40	15	×	50
5-4-2	雇用の確保や労働環境の改善	就職応援フェア参加者数	人	105	100	87	×	80

節の基本方針への取り組み状況

前年度の取り組み状況に対する振り返り
新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、「セカンドキャリアセンター事業」や「就労チャレンジ支援事業」など、若者・女性・シニア等の就労支援事業に取り組んだ。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析
産業人材の確保については、HPをはじめ、広報やDM発送などの活動を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により申請数が伸び悩んだため、目標を達成できなかった。
就職応援フェアについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により第3回目の開催が中止となってしまったため、目標を達成できなかった。

今後の方向性

「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
国・県と連携しながら、多種多様な世代に合わせた就労支援を実施していく。

前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
産業人材の確保については、掲載候補企業への訪問を含め、積極的に周知活動を行っていく。
就職応援フェアについては、ハローワーク所沢と連携し、参加者ニーズを把握するとともに、開催手法なども検討していく。

SDGsへの貢献	
1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R4.7.29	記入者職氏名	産業経済部次長 青木 一圭
-----	---------	--------	---------------

第5節	国際化・多文化共生							
関係所属	企画総務課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「国際化・多文化共生」 所沢市は外国人市民にも暮らしやすいまちだ			361	14.8%	113	4.6%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	国際化・多文化共生に関する施策の満足度		%	-	37	14.8	×	40
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-5-1	国際交流活動の推進	姉妹都市交流事業に参加した市民の人数	人	150	165	実施なし	×	180
5-5-2	外国人市民が暮らしやすい環境づくり	多言語化した行政資料の種類(「やさしい日本語」含む)	数	5	25	68		40
5-5-3	多文化共生の意識を育む環境づくり	国際交流フォーラムの参加者数	人	550	580	-	×	610
節の基本方針への取り組み状況								
<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り 国際交流活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができなかった。 市ホームページとところざわほっとメールで、「やさしい日本語」による情報発信を充実させたほか「やさしい日本語」の職員研修を実施した。 外国人市民と日本人市民、及び外国人市民同士の交流・情報交換の場となる国際交流フォーラムの開催を支援した。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析 姉妹都市交流は、新型コロナウイルス感染症の影響で交流事業を実施できず、目標を達成できなかった。 国際交流フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催方法を展示のみに変更したため、参加者数として集計できなかった。</p>								
今後の方向性								
<p>「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容 姉妹都市をはじめとする国々との交流について、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、推進していく。 外国人市民が日常生活に不便を感じないよう、行政資料の多言語化(「やさしい日本語」を含む)や市ホームページ等での情報発信の充実を図る。 国際交流フォーラムや庁内研修等を実施するとともに、関係団体と連携して外国人市民への支援をサポートする。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容 姉妹都市交流と国際交流フォーラムは、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、安全に実施する方法があるか検討する。</p>								
SDGsへの貢献								
	1 貧困をなくそう		レ	10 人や国の不平等をなくそう				
	2 飢餓をゼロに		レ	11 住み続けられるまちづくりを				
レ	3 すべての人に健康と福祉を			12 つくる責任 つかう責任				
	4 質の高い教育をみんなに			13 気候変動に具体的な対策を				
	5 ジェンダー平等を実現しよう			14 海の豊かさを守ろう				
	6 安全な水とトイレを世界中に			15 陸の豊かさを守ろう				
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		レ	16 平和と公正をすべての人に				
	8 働きがいも経済成長も			17 パートナリーシップで目標を達成しよう				
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう							
評価日	R4.7.29	記入者職氏名	経営企画部次長 柳田 晃芳					

第6節	文化芸術・伝統文化							
関係所属	文化芸術振興課、文化財保護課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和3年度所沢市市民意識調査」の結果) 回答数:2,437人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「文化芸術・伝統文化」 日常生活の中での芸術・文化に触れる機会に満足している			460	18.9%	203	8.3%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
	文化芸術・伝統文化に関する施策の満足度		%	-	42	18.9	×	45
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R3年度目標値	R3年度実績	達成状況	R6年度目標値
5-6-1	個性あふれる文化の創造	所沢市文化祭の延入場者数及び事業参加者数	人	17,927	19,500	7,434	×	21,000
5-6-2	文化財の保護・活用	文化財保護にかかる事業の参加者数	人	9,450	11,000	6,273	×	12,000
5-6-3	ふるさと研究の推進	ふるさと研究活動にかかる延利用者数	人	5,882	6,050	2,919	×	6,200
5-6-3	ふるさと研究の推進	郷土資料利用件数	件	389	420	700		450
節の基本方針への取り組み状況								
<p>前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>9月からグランエミオ所沢にストリートピアノを設置し、子どもからお年寄りまで、幅広い年代の方々に演奏や観覧を楽しんでいただき、街を歩くと、ふと音楽が聞こえてくる「音楽のあるまち」をさらに推進させた。</p> <p>「文化」と「航空発祥」の2つのテーマの下、新しい市民文化の創造を目指した恒例の春のイベントである「市民文化フェア」について、コロナ禍での開催に向け、検討を進めた。(検討の結果、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和4年4月の開催は中止となった。)</p> <p>「音楽のあるまちづくり」の新たな核となる事業として平成29年にスタートした「空飛ぶ音楽祭」について、開催に向けて準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>市内において様々な芸術・文化活動を行う17の連盟で組織される所沢市文化団体連合会の最大の事業である「所沢市文化祭」は、新型コロナウイルス感染症の影響により半数の催しが中止を余儀なくされたが、各団体に対して情報提供や会場確保等により支援を行った。</p> <p>所沢市民文化センターについて、指定管理者制度による管理運営を行った(指定管理者:公益財団法人所沢市文化振興事業団)。また、令和4年度からの指定管理期間へ向け、指定管理者の選定を行った結果、引き続き所沢市文化振興事業団を指定管理者とすることとなった。施設運営については、新型コロナウイルス感染症拡大により、閉館時間の短縮や人数制限等を余儀なくされたが、ガイドラインを遵守しながら感染対策を徹底して運営を続けた結果、徐々にではあるが来館者数も回復してきた。なお、令和2年度以降より継続して、PFI事業者による施設の維持管理を実施している。</p> <p>所沢駅東口市民ギャラリーについて、指定管理者制度による管理運営を行った(指定管理者:公益財団法人所沢市公共施設管理公社)。また、所沢中央病院からの申し出を受け、9月から3月にかけて発熱外来のスペースとして同病院に貸出しを行った。</p> <p>「新指定文化財展」や「ところざわ繁盛記～町場のくらし展」の開催により、市民が守り伝えてきた所沢の歴史・文化を伝え・学ぶ機会とした。</p> <p>令和2年度開催ができなかった「所沢伝統芸能発表会」を、「活動自粛が続いている継承団体の活動再開への機運を高めるきっかけづくり」を目的として開催し、市民観覧に加えHPで動画を公開した。</p> <p>「埋文まつり」など事業規模の大きな事業は、事業規模を縮小したかたちで企画し、開催した。</p> <p>県指定史跡「滝の城跡」整備事業に伴う第1～8次調査の成果を市民に伝えるため、「滝の城跡を知る報告会」を開催した。</p>								
<p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、「所沢市文化祭」の21事業中10事業が中止となったため、延入場者数及び事業参加者数が減少した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、事業規模を縮小して開催しているため、人数を指標とした目標値は達成困難であるが、参加者満足度(アンケート等)は高い数値を示しており、一定の評価を得ている。</p>								

今後の方向性			
<p>「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容 「音楽のあるまちづくり」の推進をはじめ、文化の薫り高い施策を進めていく。 所沢市民文化センターについては、市の文化の発信拠点として、魅力あるコンテンツを提供していきけるよう指定管理者と協力していくとともに、地域密着型の文化振興についても推進していく。 文化財の所在把握や調査に努め、その価値を明らかにするとともに、保護・活用して後世へ伝えていく。 「ふるさと所沢」に関する資料を収集・整理・調査し、その成果を展示・講座・体験学習会等を通じて市民に伝える。 所沢の郷土資料等を収蔵する保存施設の整備を検討する。</p> <p>前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容 新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和されるつつある中で、安心安全な対策を施しながら人々が安心して文化芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術に気軽に親しむことで関心を持つ人たちの裾野を広げていけるよう内容を充実させていく。 「withコロナ」に対応した事業実施に努め、より多くの市民が「ふるさと所沢」の文化財や歴史・自然等に愛着を抱くことができるよう、情報発信や講座開催などの充実に努める。</p>			
SDGsへの貢献			
1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	レ 11	住み続けられるまちづくりを
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任
レ 4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16	平和と公正をすべての人に
8	働きがいも経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤を作ろう		
評価日	R4.7.29	記入者職氏名	市民部文化芸術振興担当参事 瀧澤 恵 教育総務部次長 皆川 博幸